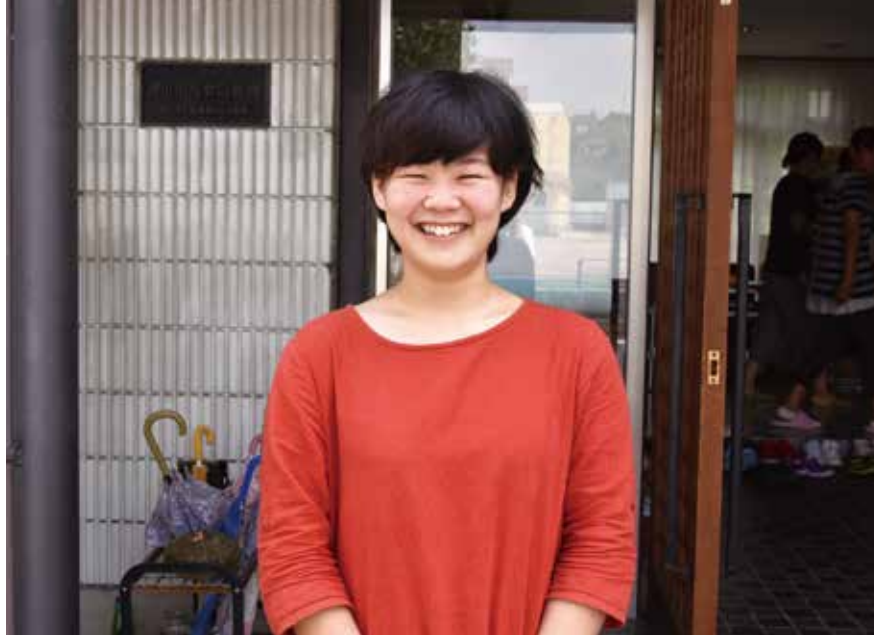




津山市地域おこし協力隊

加藤 結花さん (下高倉西)

都留文科大学社会学科(山梨県)で環境教育や地域づくりについて学ぶ。大学卒業後、地域おこし協力隊への就任を機に、津山市に移住。高倉地域で子育てと教育の支援を中心に取り組む。埼玉県さいたま市出身。



津山市の地域おこし協力隊になったきっかけは？

母方の祖父母が津山市内に住んでいて、幼いころから何度も遊びに来ていたので、とても親しみがありました。

大学4年生の時、津山市が地域おこし協力隊を募集していることを知り、わたしが取り組みたい環境教育の内容と合致していたので、迷わず応募し、就任することができました。

環境教育とは？

人が自然環境の中でいかに成長し、生きる力を育んでいけるかを考える教育方法のことです。自然遊びやキャンプ活動などを通じて、他人と協力し合い、共同生活を経験する中で成長していくことも環境教育といえます。

どのような活動をしていますか？

例えば先日は、子どもたちが自然の中で読書に親しむ場を作るため、里山を利用した遊び場である高倉ふれあいの森プレーパークで「森の図書館」という取り組みを行い、保護者の皆さんから好評の声をいただきました。

主な活動の拠点である高倉地域の特徴や、開催されている催しなどを知っていく中で、「大人たちが地域全体で子どもを育てていこうとしている」という地域の強みが見えてきました。その中で、わたしがこれまで学んできたことや、経験してきたことなどを徐々に発揮していけたらと考えています。

津山の皆さんにメッセージを

市外から移住してきたわたしに、皆さん親切にしてくださいるので、とてもうれしいです。皆さんぜひ、毎月開催している高倉ふれあいの森プレーパークへ遊びに来てください。一緒に自然に触れ合いましょう。



▲高倉公民館で子どもたちと折り紙遊びで交流を深める加藤さん



▲森の図書館の様子

朝、目が覚めた時、少し喉の痛みを感じました。あれ？風邪を引いたかな。職場で編集作業をしていると、少し寒気を感じてきました。もしかしたら熱が始めているのか…。体温計で計ると37.5度。この時から2日間、38〜39度の高熱と闘い、健康の大切さが身に染みてよく分かりました。(笑)

サンタフェ市との交流記事で参加者の声を聞き、文化の異なる国の人との交流は、とても貴重な経験だと感じました。わたしも若い頃に経験していたら、内向的な性格も変わっていたかもしれないなと思いました。今からでもまだ遅くない。お金を貯め、いつかはサンタフェ市へ行ってみたい。(笑)

昭和51年9月に南小学校に設置され、40年以上にわたり子どもたちの成長を見守ってきた蒸気機関車C18-11号が津山駅北口広場に移設されました。今月号の表紙は8月14日に撮影したもので、この日、市外から帰省したお客様でも賑わっていました。津山駅前の新たな顔になりそうですね。(W)



編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)
〒708-8501 岡山県津山市北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報紙は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑紙)にご協力ください。

☆広報津山はホームページで閲覧できます
https://www.city.tsuyama.lg.jp/



☆津山市のフェイスブックはこちら
https://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou

